

探検

隊員 Y が令和元年 9 月の終わり、早坂淵の対岸に穴らしきものを見つけました。等間隔に穴が複数あることから、ある橋の橋脚跡ではないかと推察していましたが、10 月 12 日の台風 19 号による広瀬川の増水以降は、再びその形を確認することはできなくなりました。

12 月 17 日、水量が落ち着き川底まで透き通ったこの日、穴らしきものを見つけた場所の調査を行い、展示で「穴の原寸復元（木製，内寸：穴の外縁サイズ）」と、「探検の映像記録」の公開を試みました。

隊員 Y の見解／

明確な連続した穴が人工物だと確認できると思ったが、そのようなものではなかった。

かろうじて見つけた穴の形状からすると、大きな石が長年とどまり川底が円形に侵食して発生したものの可能性はあるが、周囲の穴など、今後も情報収集・調査が必要である。

[原寸復元]

制作 関本 欣哉
千葉 大

[映像]

制作 相原 洋
長さ 8分53秒